

《将来都市像の実現のため基本計画を更新》

総合計画の後期基本計画を策定

～令和5年4月1日からスタート～

市では、野田市総合計画前期基本計画が計画期間の満了を迎えることから、引き続き将来都市像「～人のつながりがまちを変える～みんなでつくる 学びと笑顔あふれる コウノトリも住めるまち」の実現のため、令和3年度に公募による市民や学識経験者などで構成する総合計画審議会（以下、「審議会」という。）（会長：内山久雄東京理科大学名誉教授）を立ち上げ、後期基本計画の策定作業を進めてきた。

5回の審議会によりまとめた後期基本計画（素案）について、令和4年8月17日から9月15日まで実施したパブリック・コメント手続では、市民から61件の意見が提出され、これらの意見を反映するために審議会に必要な修正を行い、令和5年2月1日、審議会より答申を受け、3月に野田市総合計画後期基本計画を策定した。

将来都市像の実現のため、野田市総合計画後期基本計画を令和5年4月からスタートする。

【計画のポイント】

総合計画の骨格として定めた6つの基本目標の達成のため、令和12年（2030年）を目標年次として、前期基本計画から施策の内容について、既に終了した事業、また、新たに取り組むべきものについて、内容の修正等を整理し、更にSDGsの目標との関連を明確にし、実施すべき施策を位置付けた。

【新たに取り組む主な施策】

1 「ゼロカーボンシティの推進」

野田市の地域特性に合った可能なエネルギー政策を検討するとともに、これに伴う環境への影響に配慮する。

再生可能エネルギー等を利用した住宅用設備等の普及拡大に向けて、住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金を交付。

2 「幼児教育・保育の推進」

既存保育所の定員増や定員の弾力的運用や見直しを講じるとともに、民間活力により必要な施設の整備を進める。

3 「鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝える」

鈴木貫太郎記念館は、内閣総理大臣として日本を終戦に導いた鈴木貫太郎翁の功績を広く後世に伝えるため、幼少期と最晩年を過ごした地である鈴木貫太郎翁の居宅があった場所に隣接して建設されたが、現在休館中であり、この記念館を再建し、広く後世に魅力を発信する。

●野田市総合計画（後期基本計画）の策定経過

年 月 日	事 項
令和3年度	7月20日 第1回審議会 1 会長及び副会長の選出について 2 総合計画の概要及び総合計画後期基本計画の策定方針等について 3 総合計画後期基本計画の策定について（諮問） 4 総合計画前期基本計画の進捗状況について
	11月15日 第2回審議会 1 野田市総合計画後期基本計画の素案について (1) 基本目標1（自然環境と調和するうるおいのある都市） (2) 基本目標4（安全で利便性の高い快適な都市） (3) 基本目標6（活力とにぎわいに満ちた都市）
	3月23日 第3回審議会 1 野田市総合計画後期基本計画の素案について (1) 基本目標3（豊かな心と個性を育む都市） (2) 基本目標6（活力とにぎわいに満ちた都市）
令和4年度	4月28日 第4回審議会 1 野田市総合計画後期基本計画の素案について (1) 基本目標2（生き生きと健やかに暮らせる都市） (2) 基本目標5（市民がふれあい協働する都市）
	7月20日 第5回審議会 1 野田市総合計画後期基本計画の素案について (1) 委員から頂いた意見について (2) 第4回総合計画審議会以降の修正について (3) 重点プロジェクトについて 2 パブリック・コメント手続の実施について
	8月～9月 パブリック・コメント手続の実施
	2月 1日 第6回審議会 1 パブリック・コメント手続の結果について 2 総合計画後期基本計画の策定について（答申）
	3月10日 野田市総合計画後期基本計画策定
	4月 1日 野田市総合計画後期基本計画スタート

●添付資料

・野田市総合計画 後期基本計画 概要版

問合せ＝企画調整課・直通 04-7123-1065

代表 04-7125-1111（内線 2362）

野 田 市